

(第3回) 地域コミュニティのあり方検討委員会 会議録

- 日 時 平成30年7月9日(月) 午後7時00分から午後9時00分まで
- 場 所 西条市役所 庁舎新館4階 404会議室
- 出席者 委員(14名)
 - 青野 信樹 委員 阿蘇 浩造 委員 井上 康 委員
 - 宇佐 裕次 委員 岡本 将広 委員 川上 善秋 委員
 - 黒河 幸子 委員 白石 澄子 委員 田口 勝三 委員
 - 田口 勝敏 委員 野島 貴子 委員 野田 ゆり子 委員
 - 坂東 君良 委員 渡部 克彦 委員
- アドバイザー(1名)
 - 櫻井 常矢(高崎経済大学 地域政策学部 地域づくり学科 教授)
- 事務局(5名)
 - 田村三智子(企画情報部 市民協働推進課長)
 - 井上 直樹(企画情報部 市民協働推進課 協働推進係長)
 - 戸田 和宏(企画情報部 市民協働推進課 地域組織係長)
 - 戸田 聖子(西条市市民活動支援センター)
 - 竹内 敏博(西条市市民活動支援センター)
- 欠席者 處 淳子 委員
- 会次第
 - 1 開 会
 - 2 委員長挨拶
 - 3 議題
 - (1) 前回の振り返り・総括
 - (2) 地域コミュニティに期待される役割
 - (3) その他
 - 4 閉 会

○ 議題審議

議題（１）前回の振り返り・総括

前回の会議録をもとに振り返りを行った。

議題（２）地域コミュニティに期待される役割

（※３つのグループに分かれて協議を行った。協議の際に付箋に書き出した意見を分類の上、以下に掲載。）

『テーマ① 地域コミュニティで取り組むべきこと（地域が取り組まないと出来ないテーマ）は、どのようなことか』

【親睦・交流】

- ・笑顔で楽しく生活できるように（共同の力を強める）
- ・コミュニティ活動・交流
- ・近所間のつながり
- ・周辺地区とのつながり作り
- ・自治会同士の交流
- ・地域の方を良く知っている事、交流ができる
- ・上下間の交流
- ・子ども達と地域の高齢者との交流
- ・各種団体がバラバラでない事

【高齢者福祉】

- ・地域の高齢者同士の交流、公民館、自治会
- ・高齢者の話し合いの場を作る
- ・高齢者の地域社会活動への参加（生きがい）
- ・これからもっと老人社会、老人を元気にする会を持つ（老人の楽しみを作る）ミニデーなどはしているが
- ・生きがいづくり

【環境・美化・景観】

- ・ごみなど衛生管理
- ・地域の環境を良くすること（一斉清掃）
- ・景観等気持ちよく住める環境の維持

【防犯・見守り】

- ・高齢者の見守り
- ・一人暮らし高齢者の見守り
- ・認知症の方や障がい者の方への見守りなど
- ・困ってる人の家への簡単な手伝い
- ・子どもの見守り
- ・子どもたちの見守り（不審者、交通安全）
- ・子どもの見守り、通学路は安全か？
- ・児童、生徒の安全確保
- ・防犯予防

【防災】

- ・危険箇所の確認と対策
- ・防災について
- ・自主防
- ・防災（地域の中で本当に安全なところはどこか？ハザードマップ頼りではなく）

【文化・伝統】

- ・地域の伝統行事の継承
- ・子ども達に地区の風習や行事を体験、伝えていく

【人材育成・教育】

- ・人材育成
- ・後継者の育成（3年後、5年後、10年後をみすえて）
- ・13才～18才 中高生への教育（道徳）
- ・18才～30才くらいの若い親への教育（道徳）
- ・7才～12才 小学生と①18才～30才、②30才～80才世代を超えた学習
- ・0才児と12才児童とのふれあいの場、赤ちゃん登校日

【地域課題の把握と共有】

- ・各地域の課題を明確にしていく
- ・地域課題の見える化・共有
- ・自治会内の現状把握、見える化
- ・地域のビジョンのまとめ
- ・活性化の為の提案
- ・地域の問題の発掘

- ・その地域独自の課題（地域によって違うため地域内の話し合いが必要）
- ・地域の課題解決のサポート
- ・地域に必要な事が良く解っており取り組みやすい
- ・情報共有（単組織内、各組織のつながり）
- ・組織の仕事の共有化（より多くの人と）

【その他】

- ・各種団体への橋渡し
- ・地域の結び役になる事
- ・多様性のみんなのつなぎ…
- ・地域にある組織で連携をはかり統合と多様性のミックスを図ること
- ・自治会の役員会の開催をする。話し合いをする
- ・若年層の地域社会へのデビュー
- ・若い人達に頑張ってもらう為に公民館などにいろいろな相談窓口を作ることがいいと思う
- ・地域の公民館をもっといろんな人たちに利用してもらおうようにしてほしい。今は特定の人が多いような気がする

『テーマ② 地域コミュニティが取り組むべきことを実施していくために必要なこと、大切にしないといけないこと、目指すべき姿について』

【人材育成について】

- ・人材育成
- ・リーダー、サブリーダー人材育成
- ・リーダーの養成
- ・勉強会、反省会の実施
- ・まとめ役、提案してくれる人必要
- ・どの人もすべて大切です!!
- ・地域の様々な世代が学べる場の（生涯教育の場）提供

【会議・話し合いについて】

- ・話し合いの機会を増やす
- ・上下が気兼ねなく話せる場
- ・気軽に集まれる場（たべたり、のんだり気楽）
- ・テーマを実現するために各種団体で協議する場を設けていく

- ・参加しやすい、話し合いの場（気軽さ、ハードルの低さ）
- ・話し合いの場を作る（若い人、高齢者）
- ・継続した話し合いの場

【世代間交流】

- ・子どもが来る行事
- ・大人・子ども合同の行事（ソフトボール大会など）
- ・地域でもっと若い人と老人も触れ合えるようなスポーツなども良いのでは
- ・子ども、若者との交流を考える
- ・年齢問わずコミュニケーションの場づくり
- ・交流の場を多く（世代間を超えて）
- ・高齢者が若者の行事に参加、協力
- ・地域の人の名前を知る、子ども達も!!

【連携について】

- ・各団体の連携
- ・自分で出来ないことを他人に頼める関係づくり
- ・各種団体の連携を図る
- ・各種団体をつなぐ、場所、人、設定
- ・老人会を PTA が設定、子ども会を消防団が設定するなど
- ・横のつながりをつくる
- ・団体間の共有の強化
- ・組織の簡素化、つながり強化
- ・婦人会は女性だけ、自治会はほとんど男性。融合出来ないものか。地域の運営を男女比が半々
- ・各種団体との交流、意見交換
- ・学校、健全育成、公民館などが一緒にできるように
- ・各種団体のバランスが取れるように会を時々持つ事も良いと思う。人を知るという事にもつながる
- ・多くの団体とまじわる

【つなぎ役やコーディネーターの必要性について】

- ・コーディネーターの必要性
- ・地域のコーディネーターの配置
- ・課題解決の為のアドバイザー依頼
- ・地域有名人の活用、コーディネーター

【場の提供について】

- ・若い人達がもっと参加できるような行事をふやす
- ・高齢者が生きがい、有用感を持てる仕掛け
- ・自治会は年功序列なので同じ世代がかたまる⇒新しいポジション（30代40代）を作る
- ・退職後の生きがいづくり（場づくり）仕組み
- ・高齢者の活躍、働く場の創出
- ・各世代の活躍できる場づくり
- ・人を集める

【地域の計画やビジョンについて】

- ・ビジョン、計画など目に見えて振り返れるもの
- ・計画、振り返り、継続の仕組み
- ・地域自治の目標明確化
- ・やるべきことの明確化（はっきりしていること）
- ・住民が何に困っているか、どうしたいかの把握
- ・ビジョン計画（地域づくり）作成する
- ・地域の課題を共有する
- ・目的を把握する人が一部⇒オープンに共有化
- ・状況とニーズに基づいたビジョン⇒提案者不足⇒養成
- ・地域ビジョン計画の見直しなど仕組みをしっかりとつくる
- ・地域自治の目的を地域住民、総ぐるみの理解⇒後継者へとつながる（中学生以上くらいで）
- ・地域住民への課題アンケートと対策検討
- ・地域の情報発信の強化
- ・自治会内の現状を把握し役割の見直し

【地域コミュニティに対する意識について】

- ・楽しくすること→懇親会、飲み会
- ・地域で助け合おうという意識
- ・楽しい、面白いしかけづくり
- ・ボランティア意識の向上
- ・自らが意識する（取り組む）動く力に
- ・同じ事ばかりを行っている。新しい事を考えて行っていく。
- ・地域の中に生活の一部があるという実感
- ・地域がよくなることで自分の生活もよくなるという意識

- ・地域での有用感
- ・地域に頼る地域は頼れるという信頼感
- ・生活上必要なことは自分でやる
- ・共同の精神の向上
- ・人それぞれの個性を生かしモチベーションを上げてあげる。
- ・各行事に取り組む姿勢
- ・無いものねだりの住民
- ・ボトムアップ型の地域づくり

【公民館について】

- ・地域に根差した公民館の支援体制
- ・公民館の体制強化
- ・公民館をまき込み各団体で取り組みが出来ていない事を話し合う。横のつながりを持つ!!
- ・公民館の活用（多くの人に利用願いたい）

【行政との関係やサポートについて】

- ・地域と行政の新しい関係、パートナーシップ
- ・地域ポイント（ボランティアをポイント化・見える化）
- ・自治に対して住民が多くの税金をはらう。⇒その見返りやサービスを住民が受けられる。⇒イベントへの参加増
- ・地域に対する行政のフォロー、応援体制の強化
- ・行政とも連携をする
- ・委嘱状を出す

【その他】

- ・実動部隊
- ・役割交代（年齢で？）上の方がフォローに変わる
- ・子育てが安心出来る地域づくり。
- ・防犯＝交通（見守り）
- ・男性＝女性（子育て協力）
- ・大型集落と小集落、同じ仕組みで良いのか
- ・高齢者の交通手段
- ・地域の力のある人のサポート
- ・交通安全講座（高齢者）

議題（３）その他

委員長	他にないか。 ないようなので、以上で本日の議題としていたものがすべて終了しましたが、最後に事務局から何かあるか。
事務局	— 事務連絡 —
委員長	それでは、以上で本日の委員会を閉会する。
	「了」